

バリアフリーの取組を進めていくためには、しせつや道路などのハードの取組だけを進めても、困りごとをなくすことはできないんだ。
だから、「ソフトの取組」として、「心のバリアフリー」をみんなに知ってもらって、広めてもらうための取組を行っているよ。



いろいろな心身の特性をもつすべての人々が、お互いに理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合い、助け合うことです。

♥ みんなに知ってもらうためのポスターを作成しているよ

市民が身近にあるバリアや困っている人がいることを知ってもらうためのポスターを市民の人と一緒に作成しているよ。
ポスターは、全部で12種類あるよ！探してみてね。



♥ タウンニュースにポスターで伝えたいことを説明しているよ

左で紹介したポスターの説明を「タウンニュース」で情報を発信しているよ。「どんな人が、どういうことに困っていて、どのような手助けがほしいのか」、ぜひニュースを見てみてね。



♥ ポスターをJRちがさき駅の連絡通路に掲示しているよ

令和4年12月3日～9日の障害者週間に合わせてJRちがさき駅の連絡通路にポスターを掲示したよ。



“駅の使い方のマナー向上”や“心のバリアフリーを知ってもらう”ために行ったよ。

♥ ユニバーサルスポーツフェスティバルを開いているよ

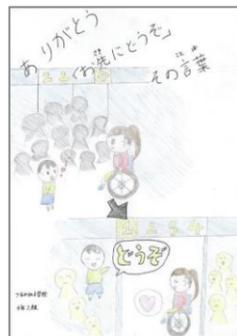
障がいのある・なしや体形に関係なくスポーツを通して、みんなが交流する場を1年に1回作っているよ。一緒に運動しながら、障がいのスポーツや障がいなどを知ってもらうことを目的に行っているよ。



♥ 心のバリアフリー教室を開いているよ

児童と障がい者が交流し、障がい者への理解などを深めて、心のバリアフリーを普及することを目的に行っているよ。

<対象>
茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
4年生



みんなが交流しているイラスト

参照先

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想概要版(わかりやすい版)
発行 茅ヶ崎市都市部都市政策課 令和6(2024)年〇月作成

QR
コード

茅ヶ崎市のバリアフリーの取組み

多様な方+まちの様子を示したイラスト(やさしい色使いのもの)



“バリアフリー”のことばの意味

「バリア」はえいごで「障壁(かべ)」という意味です。
バリアフリーは、“人々が移動するときに障壁になっているバリアをなくす”ことです。特に、お年寄り、障がい者、子ども連れなどに配慮しています。

ポイントを示すイラスト

だれもが安心して過ごせるまちをめざして！！
茅ヶ崎市で行っているバリアフリーの取組

茅ヶ崎市には、健康な人をはじめ、お年寄りや色々な障がいのある人、子ども連れ、外国人など、多様な人が暮らしています。また、市外から訪れる人もいます。

「だれもが安心して過ごす」ことを目標に、まちの中にある“困りごと”をなくすために、市が行っているバリアフリーの取組を紹介します。

市では大きく「ハード」と「ソフト」の2つに分けた取組を行っているよ！

建物

ハードの取組

公園

ソフトの取組

ポスター

道路

交流している様子

<内容>

取組

国が決めた法律を守りながらバリアフリーに関する計画をたてて、市やしせつを管理している人、実際に困っている人といっしょに、困りごとをなくすための取組を行っているよ。

この取組を進めるためには、ハードとソフトの両方の取組を行う必要があるんだ。これから説明するね。

ハードの取組の紹介

ちがさき市では、市全域を対象として取組を進めています



ちがさき市では、特に“茅ヶ崎駅”と“北茅ヶ崎駅”の周りに、お年寄りや障がい者などがよく利用する施設、道路、乗り物が集中しているよ。

ここに行くまでの移動や、施設を利用するときの困りごとをなくすために、たてものや道路を管理する人、お店の人、乗り物を運転してる人などに協力してもらいながら、バリアフリーの取組を進めているんだ。そのための計画として、「茅ヶ崎市バリアフリー基本構想」をつくっているよ。

<バリアフリー化している主なしせつの紹介>

● 公園

茅ヶ崎市役所は、新しく建て替えを行って、しせつ全体をバリアフリー化したよ。

● たてもの

茅ヶ崎市役所では、平成27年に新しく建て替えをして、しせつ全体をバリアフリー化したんだ。

車いす使用者が車で来た時に、乗り降りしやすいように広めの専用駐車場を設置しているよ。出入口にも近いから、アクセスしやすいよ。



● 道路(歩道)

車いすやベビーカー、視覚障がい者などが“安全・安心に移動できる”ように、バリアフリー整備を進めているよ。

例えば、こんなことをしているよ。

- 歩道を広げたよ
- 車いすなどがガタガタしないような種類のほそうにしたよ



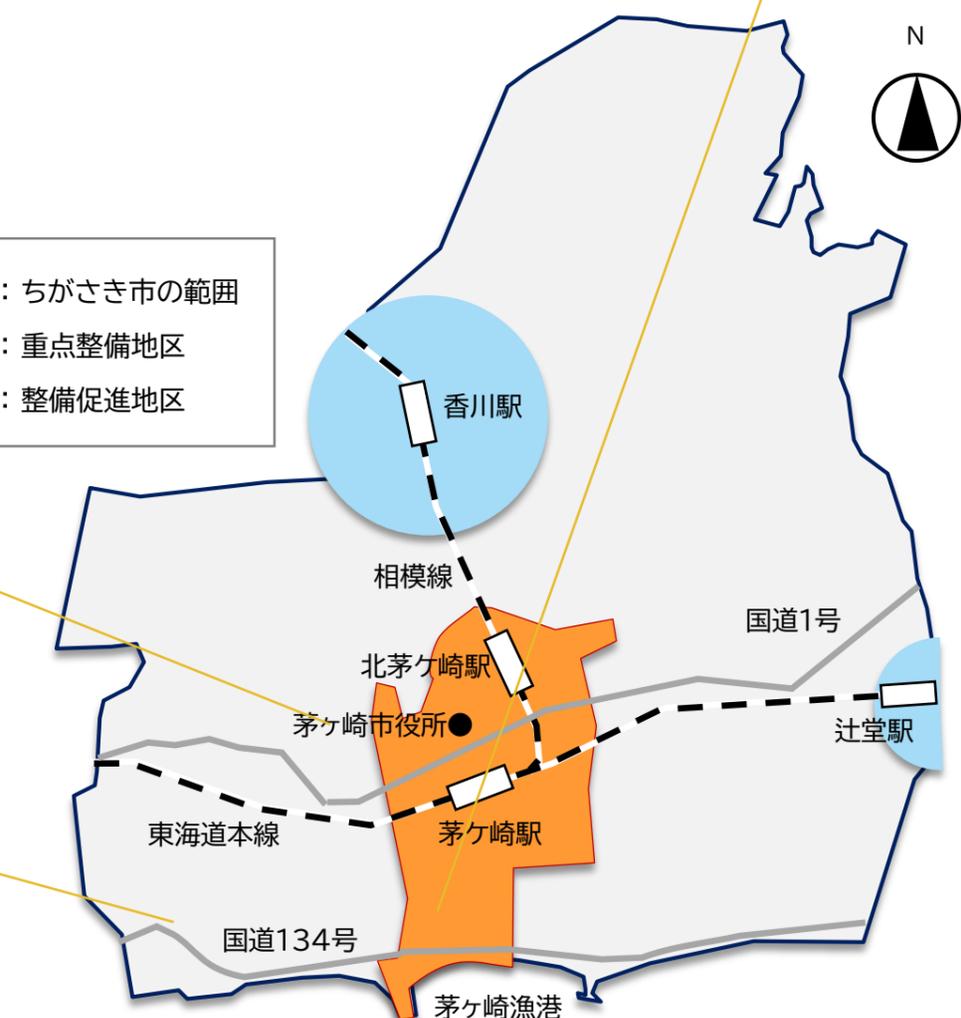
● 駅

JRちがさき駅では、元々バリアフリー化がなされているしせつだけど、さらに良くするための整備を進めているよ。

バリアフリースイレの中にあるせつびが外からでもわかるように、“ピクトグラム”という図記号を出入口から見える場所に示しているよ。



: ちがさき市の範囲
 : 重点整備地区
 : 整備促進地区



市で優先的に整備する地区の図

ハードの取組で行っていること

イラスト

市は、「バリアフリー基本構想」に書かれた内容を実現させるため、関係者と協力して色々な取組を行っています。

市全域の中でも、特に利用の多い地区(重点整備地区※1や整備促進地区※2)を中心に、駅や駅前広場、道路、たてもの、公園などのバリアフリー化を進めています。実際に行っている内容の一部を左側で紹介します。

【※1:重点整備地区のこぼの意味】

駅を中心に、お年寄りや障害者などが利用する施設が集まった施設をまとめた地区のこと。

「茅ヶ崎駅・北茅ヶ崎駅周辺地区」を設定しています。

【※2:整備促進地区のこぼの意味】

まちづくりと合わせてバリアフリー化を進める地区のこと。

「香川駅周辺地区」と「辻堂駅周辺地区」を設定しています。

バリアフリー化を進めるためのポイント



ポイント 1

「整備する内容」を決める時は、高齢者や障がい者など利用する人といっしょにまちをあるいたり、意見を聞いたりして、バリアフリーのもんだい点を見つけます。

いろいろな人の意見をきいて、どうなおしていくのか、新しく作る時はどんなことに配慮しないといけないのかをまとめています。

ポイント 2

左に見せている施設の種類ごとに、「整備する人」や「整備する内容」、「実施する期間」を決めて、バリアフリー化を進めていきます。【“特定事業”というよ】

市民・当事者(複数人)のイラスト

基本構想があることで、みんなが移動しやすく、使いやすくするためのまちづくりをしています

ちがさき市【行政のイラスト】

施設をつくる人達【施設管理者のイラスト】